

平成 23 年 3 月 16 日

「東京都がん検診推進サポーター」に認定 ～従業員と都民のがん検診受診率向上を目指して～

朝日生命保険相互会社（社長 佐藤 美樹）は、平成 23 年 3 月 11 日、東京都より「**東京都がん検診推進サポーター**」に認定されました。

東京都では平成 20 年 3 月に、がんの予防から治療に至るまでの総合的な計画である「東京都がん対策推進計画」を策定し、平成 24 年度までにがん検診受診率を 50%にすることを目標に掲げ、このための取組みのひとつとして「東京都がん検診推進サポーター事業」を行っています。

「東京都がん検診推進サポーター事業」とは、東京都が従業員と都民のがん検診受診率向上に積極的に取り組む企業等を「東京都がん検診推進サポーター」として認定し、協力して都民の受診促進を目指すものです。

当社では、東京都のがん検診受診率向上の趣旨とその取組みに賛同し、ともに受診率向上に向けた取組みを推進していきたいとの考えから、「東京都がん検診推進サポーター」登録の申請を行い、このたび東京都より同サポーターに認定されることとなりました。

当社は平成 21 年度より CSR 推進の一環として乳がんの早期発見の重要性と早期検査の受診を啓発・推進するピンクリボン運動に積極的に取り組んでまいりました。

NPO 法人 J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）のオフィシャルサポーターとして当団体の活動を支援するとともに、乳がんについての啓発チラシ、ポスターの製作や乳がんセミナーの実施、情報誌への乳がんの知識に関するコラムの掲載などの取組みを実施しております。さらに平成 22 年 10 月の乳がん月間には都内をはじめ、全国各地の支社の街頭におきまして乳がんについての啓発チラシの配布を行いました。

また、従来から実施している定期健康診断およびがん検診の受診の徹底、費用補助範囲の見直し等による受診者のニーズに応じた受診を可能とする取組みなどにより、従業員の受診率の向上を図っております。

今後とも「女性を応援する朝日生命」として、ピンクリボン運動の取組みを通じて、東京都とともにがん検診の受診率向上のため、より一層努力してまいります。

以 上